

令和6年度 施政方針と主な事業

新たな 未来を きりひらく。

高萩市は、11月23日に市制施行70周年を迎えます。

これまでの歩みを止めるこ

となく、令和6年度は、市民の『暮らしを支える施策』や、新しい発想で『暮らしの向上に直結する施策』を軸に、昨年9月の台風13号豪雨被害を踏まえ、『防災・減災対策にかかる経費』を重点的に予算編成を行いました。

『暮らしを支える施策』としては、高萩・北茨城広域事務組合において、昨年4月に稼働を開始した「一般廃棄物処理施設」に係る経費のほか、



保健・医療・福祉

健やかに笑顔で暮らしを支え合うまち

高齢者運転免許自主返納の支援	[320万円]
自転車用ヘルメットの購入費助成	[105万円]
後期高齢者の保険・介護予防事業の一体化	[1,241万円]
後期高齢者の健康診査支援	[1,220万円]
産科・救急医療体制と医師確保	[1億3,908万円]



教育・文化

未来を切り拓く地域人(菖っ子)が育つまち

小中一貫校の基本構想・基本計画策定	[1,452万円]
たかはぎ認定こども園通園用自動車購入	[508万円]
小・中学校体育館の空調整備	[9,038万円]
図書館屋上の防水改修工事	[4,690万円]



経済・産業

地域力が経済活動を誘発する魅力あるまち

林道の維持管理と有害鳥獣による被害防止	[1,163万円]
森林の整備と適正管理	[5,998万円]
商工業活性化の支援	[2,633万円]
観光客集客のための各種イベント	[1,655万円]

「公共交通確保への事業者等支援」「公的病院の産科・救急医療体制・医師確保」への経費等、新しい発想で『市民の暮らしの向上を図る施策』としては、各種行政手続きの電子化を推進する「情報化システムの環境整備」「高萩駅周辺地区再整備の基本構想策定」の経費等を予算化しました。

その他、『防災・減災対策』として、緊急災害時の避難所環境の向上と教育環境の充実を図る「小・中学校体育館の空調整備」、災害時の上空からの情報収集・要救助者探索に活用する「消防用ドローン購入」、安定した水利を確保する「耐震性防火貯水槽設置」、線状降水帯の影響などで氾濫した「玉川改修計画策定」に取り組みます。

時代の変化に柔軟に、そして新たな未来をきりひらき、誰もが安心して笑顔で暮らせるまちにするために。



生活環境

地域資源と暮らしが融合し
継承されるまち

ごみ収集・処理	[4億3,455万円]
消防屈折はしご車オーバーホール	[3,465万円]
消防用ドローン購入	[465万円]
消防団小型ポンプ積載車購入	[1,333万円]
耐震性防火貯水槽設置	[3,420万円]



社会基盤

風土を継承する強靱で柔軟な
社会基盤づくり

情報システムの環境整備と保守管理	[1億1,475万円]
公共交通確保への事業者等支援	[5,134万円]
高萩駅周辺地区再整備の基本構想策定	[715万円]
準用河川玉川改修の計画策定	[2,300万円]
都市計画道路3・4・1号安良川下手網線の整備	[5,121万円]



地域経営

共に生き、共に創り上げる
持続可能なまち

市制施行70周年記念事業	[300万円]
総合計画後期基本計画・創生総合戦略策定	[592万円]
地域コミュニティ活性化	[102万円]
地域おこし協力隊経費	[1,968万円]